

令和 5 年度

砺波地方介護保険組合

- ・一般会計
- ・介護保険事業特別会計
- ・養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計

歳入歳出決算審査意見書

砺波地方介護保険組合監査委員

目 次

I 監査の種類	1
II 審査の対象	1
III 審査の実施場所及び日程	1
IV 審査の着眼点及び実施内容	1
V 審査の結果及び意見	1
VI 決算の概要	3
VII 一般会計	4
VIII 介護保険事業特別会計	6
IX 養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計	13

令和5年度砺波地方介護保険組合各会計 歳入歳出決算審査意見書

I 監査の種類

地方自治法第233条第2項の規定による審査

II 審査の対象

令和5年度砺波地方介護保険組合一般会計歳入歳出決算

令和5年度砺波地方介護保険組合介護保険事業特別会計歳入歳出決算

令和5年度砺波地方介護保険組合養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計歳入歳出決算

III 審査の実施場所及び日程

砺波市高齢者能力活用センター1階にて、令和6年7月17日（水）に実施した。

IV 審査の着眼点及び実施内容

決算審査は、令和6年7月5日付けで、理事長から審査に付された各会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書・実質収支に関する調書、財産に関する調書が、地方自治法等関係法令に準拠して作成されているか、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的になされているか等に主眼を置き、砺波地方介護保険組合監査基準に準拠し、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類との照合並びに関係者からの説明聴取などを実施した。

V 審査の結果及び意見

審査に付された各会計歳入歳出決算書及び付属調書に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、かつ、各決算計数は、関係諸帳簿と符合して正確であることを認めた。

また、予算執行及び事務処理全般についても適正に処理されていることを認めた。

初めに、一般会計及び介護保険事業特別会計においては、介護保険制度創設以来24年が経過し、令和5年度は第8期介護保険事業計画（計画年度：令和3～5年度）の最終年度として、介護予防事業や地域密着型サービスの推進等による地域ケア体制の充実を図るとともに、介護サービス事業の量と質の確保・向上に向けて、構成市と連携しながら事業展開に取り組んでいる。

まず、一般会計については、令和5年度決算の実質収支は、2,514万5千円の黒字となり、前年度繰越額を差し引いた単年度収支も468万9千円の黒字となった。

次に、介護保険事業特別会計については、令和3年度以降、第1号被保険者が減少に転じたこともあり、保険料収入も令和4年度以降、2年連続で減少している。また、要支援・要介護認定者も減少したが、地域支援事業費が増加傾向にあるほか、総務費や基金積立金も増加したため、実質収支は、5億3,434万6千円の黒字となったが、前年度繰越額を差し引いた単年度収支は、1億3,158万1千円減の赤字となっている。

なお、保険料収入済額は33億5,285万1千円で対前年度比99.7%、879万1千円の減となっている。また、不納欠損額は693万1千円で対前年度比181.8%、311万8千円の増、収入未済額は1,926万5千円で対前年度比97.1%、57万5千円の減となっている。

負担公平の原則からも、「時効」を意識した計画的な臨戸徴収・電話催告の実施、65歳到達時における口座振替による納付の推進など、収納率の向上に一層努められたい。また、今後、高齢者数は減少傾向にあるものの、高齢化率は上がることが見込まれるため、構成3市とも連携を図りながら、介護予防にかかる地域支援事業、保健福祉事業の推進に努められたい。

次に、養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計については、令和5年度の実質収支は554万円の黒字となり、単年度収支も92万9千円の黒字となった。

入所状況は、年間措置定員600名に対し措置実員557名で利用率92.8%であり、前年度と比較して32名の増となり、措置費は、700万2千円の増収となり、構成市の措置市分担金は、前年度に比べ480万円減額の350万円となった。

受託事業については、年間利用日数が延べ267日、対前年度比3日の減となり、前年度に対し、1万4千円の減収となった。

養護老人ホーム楽寿荘は措置入所に基づく老人福祉施設であり、入所者の確保は施設側の努力とともに構成市の判断に大きく影響されることから、引き続き構成市と連携を密にしていくことが必要である。

今後とも、健全財政を維持し効率的な運用に努め、高齢者が地域の中で安心・安全に生活していけるよう各事業の充実を望むものである。

なお、決算の概要等は次のとおりである。

VI 決算の概要

(1) 決算規模

令和5年度の一般会計と2特別会計を合わせた予算現額は、169億8,614万3千円であり、これに対する決算額は、

歳入	16,354,567,388円	(予算額に対する割合)	96.3%	(前年度 97.4%)
歳出	15,789,535,007円	(予算額に対する割合)	93.0%	(前年度 93.2%)
差引額	565,032,381円の黒字となっている。			

歳入歳出決算額について、前年度と比較すると、歳入で2億7,804万1千円(1.7%)増加し、歳出で4億400万2千円(2.6%)減少している。

<各会計別歳入歳出決算一覧表>

(単位：千円)

区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	形式収支
一般会計	158,403	175,485	150,340	25,145
介護保険事業特別会計	16,685,928	16,038,663	15,504,317	534,346
養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計	141,812	140,418	134,878	5,540
合計	16,986,143	16,354,567	15,789,535	565,032

※合計金額は、各会計において千円未満を端数調整しているため、必ずしも一致しない。

(2) 決算収支状況

本年度の一般会計と2特別会計を合わせた歳入総額から歳出総額を差引いた形式収支及び実質収支は、5億6,503万2千円の黒字となっている。また、単年度収支は、1億2,596万2千円の赤字となっている。

会計別にみると、一般会計は実質収支が2,514万5千円の黒字となり、単年度収支も、468万9千円の黒字となっている。

次に、介護保険事業特別会計は実質収支が5億3,434万6千円の黒字となったが、単年度収支は1億3,158万1千円の赤字となっている。

また、養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計は、実質収支が554万円の黒字となり、単年度収支は、92万9千円の黒字となっている。

<会計別決算収支状況>

(単位：千円)

区分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	差引額 (形式収支) C	翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 繰越額 F	単年度収支 G(E-F)
一般会計	175,485	150,340	25,145	0	25,145	20,456	4,689
介護保険事業 特別会計	16,038,663	15,504,317	534,346	0	534,346	665,927	△131,581
養護老人ホーム楽 寿荘事業特別会計	140,418	134,878	5,540	0	5,540	4,611	929
合計	16,354,567	15,789,535	565,032	0	565,032	690,994	△125,962

※合計金額は、各会計において千円未満を端数調整しているため、必ずしも一致しない。

Ⅶ 一般会計

(1) 歳入

第1款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	155,000	155,000	155,000	0	0	0	100.0	100.0
4	148,000	148,000	148,000	0	0	0	100.0	100.0
比較増減	7,000	7,000	7,000	0	0	0		
対前年度比	104.7	104.7	104.7	-	-	-		

分担金及び負担金の収入済額は 1億5,500万円で、前年度に比べ700万円増加している。

第2款 財産収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	0	0	0	0	0	0	-	-
4	57	56	56	0	0	△1	98.2	100.0
比較増減	△57	△56	△56	0	0	1		
対前年度比	0.0	0.0	0.0	-	-	0		

財産収入の収入済額は 0円で、前年度に比べ 5万6千円減少している。

第3款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	3,393	20,456	20,456	0	0	17,063	602.9	100.0
4	3,564	13,944	13,944	0	0	10,380	391.2	100.0
比較増減	△171	6,512	6,512	0	0	6,683		
対前年度比	95.2	146.7	146.7	-	-	164.4		

繰越金の収入済額は 2,045万6千円で、前年度に比べ 651万2千円増加している。

第4款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	10	29	29	0	0	19	290.0	100.0
4	1,070	1,010	1,010	0	0	△60	94.4	100.0
比較増減	△1,060	△981	△981	0	0	79		
対前年度比	0.9	2.9	2.9	-	-	-31.7		

諸収入の収入済額は 2万9千円で、前年度に比べ98万1千円減少している。

(2) 歳出

第1款 議会費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	575	463	0	0	0	112	80.5
4	575	430	0	0	0	145	74.8
比較増減	0	33					
対前年度比	100.0	107.7					

議会費の支出済額は46万3千円で、前年度に比べ3万3千円増加している。

第2款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	157,728	149,877	0	0	0	7,851	95.0
4	152,016	142,124	0	0	0	9,892	93.5
比較増減	5,712	7,753					
対前年度比	103.8	105.5					

総務費の支出済額は1億4,987万7千円で、前年度に比べ775万3千円増加している。

支出済額の内訳は、次のとおりである。

総務管理費 149,824,801円 (前年度に比べ7,753,277円(5.46%)の増)
 監査委員費 52,540円 (前年度に比べ459円(0.87%)の減)

第3款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	100	0	0	0	0	100	0.0
4	100	0	0	0	0	100	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比	100.0	—					

予備費の充用はなかった。

Ⅷ 介護保険事業特別会計

(1) 歳入

第1款 保険料

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	3,375,743	3,379,047	3,352,851	6,931	19,265	△ 22,892	99.3	99.2
4	3,373,768	3,385,295	3,361,642	3,813	19,840	△ 12,126	99.6	99.3
比較増減	1,975	△ 6,248	△ 8,791	3,118	△ 575			
対前年度比	100.1	99.8	99.7	181.8	97.1			

保険料の収入済額は33億5,285万1千円で、前年度に比べ879万円1千円減少している。

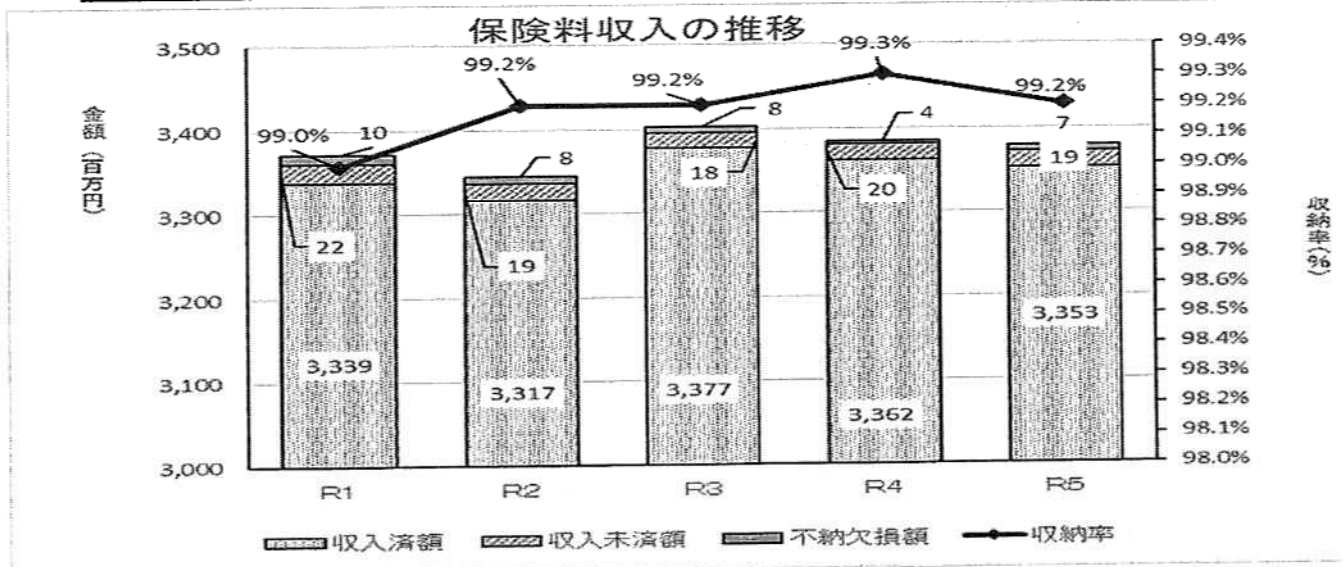
不納欠損額は693万1千円で、311万8千円増加し、収入未済額は1,926万5千円で、前年度に比べ57万5千円減少している。(収入済額には、過誤納還付未済額(特別徴収1,601,600円、普通徴収71,800円)が含まれている。)

保険料の収納状況及び前年度比較は、下記のとおりである。

< 保険料収納状況及び前年度比較 >

(単位：千円、%)

年度	区分	調定額	収入済額		還付未済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
			収納額	未済額					
5	現年度分	特別徴収	3,146,654	3,148,255	3,146,653	1,602	0	△ 1,601	100.0
		普通徴収	211,030	201,692	201,620	72	0	9,338	95.6
		小計	3,357,684	3,349,947	3,348,273	1,674	0	7,737	99.8
	滞納繰越分	21,363	2,904	2,904	0	6,931	11,528	13.6	
	計	3,379,047	3,352,851	3,351,177	1,674	6,931	19,265	99.2	
4	現年度分	特別徴収	3,169,463	3,170,926	3,169,463	1,463	0	△ 1,463	100.0
		普通徴収	196,983	187,907	187,830	77	0	9,076	95.4
		小計	3,366,446	3,358,833	3,357,293	1,540	0	7,613	99.8
	滞納繰越分	18,849	2,809	2,809	0	3,813	12,227	14.9	
	計	3,385,295	3,361,642	3,360,102	1,540	3,813	19,840	99.3	
対前年度比		99.8	99.7	99.7	108.7	181.8	97.1		



第2款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	2,223,493	2,065,377	2,065,377	0	0	△ 158,116	92.9	100.0
4	2,230,623	2,098,072	2,098,072	0	0	△ 132,551	94.1	100.0
比較増減	△ 7,130	△ 32,695	△ 32,695	0	0			
対前年度比	99.7	98.4	98.4	-	-			

分担金及び負担金の収入済額は 20億6,537万7千円で、前年度に比べ 3,269万5千円減少している。

これは、地域支援事業負担金が 214万5千円増加したが、低所得者保険料軽減負担金が 156万3千円、介護給付費負担金が 3,327万7千円それぞれ減少したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

総務費分担金	136,000,000円	(前年度に比べ	増減なし)
介護給付費負担金	1,735,392,979円	(前年度に比べ	33,276,766円 (1.9%) の減)
地域支援事業負担金	95,778,639円	(前年度に比べ	2,145,294円 (2.3%) の増)
低所得者保険料軽減負担金	98,205,800円	(前年度に比べ	1,562,800円 (1.6%) の減)

第3款 使用料及び手数料

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	10	8	8	0	0	△ 2	80.0	100.0
4	10	6	6	0	0	△ 4	60.0	100.0
比較増減	0	2	2	0	0			
対前年度比	100.0	133.3	133.3	-	-			

使用料及び手数料の収入済額は 8千円で、前年度に比べ 2千円増加している。

第4款 国庫支出金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	3,725,940	3,756,642	3,756,642	0	0	30,702	100.8	100.0
4	3,734,837	3,796,787	3,796,787	0	0	61,950	101.7	100.0
比較増減	△ 8,897	△ 40,145	△ 40,145	0	0			
対前年度比	99.8	98.9	98.9	-	-			

国庫支出金の収入済額は 37億5,664万2千円で、前年度に比べ 4,014万5千円減少している。

これは、調整交付金 6,872万7千円、地域支援事業交付金 311万8千円 保険者機能強化推進交付金 839万2千円、介護保険保険者努力支援交付金 132万7千円それぞれ減少したが、介護給付費負担金 3,741万8千円、介護保険事業費補助金 400万円それぞれ増加したことによる。

主な収入済額の内訳は、次のとおりである。

介護給付費負担金	2,808,014,218円	(前年度に比べ	37,418,230円 (1.4%) の増)
調整交付金	709,422,000円	(前年度に比べ	68,727,000円 (8.8%) の減)
地域支援事業交付金	185,966,499円	(前年度に比べ	3,117,641円 (1.6%) の減)

介護保険事業費補助金	4,000,000円	(前年度に比べ	4,000,000円(100%)の増)
保険者機能強化推進交付金	19,951,000円	(前年度に比べ	8,392,000円(29.6%)の減)
介護保険保険者努力支援交付金	29,288,000円	(前年度に比べ	1,327,000円(4.3%)の減)

第5款 支払基金交付金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	4,189,951	3,994,660	3,994,660	0	0	△ 195,291	95.3	100.0
4	4,192,132	3,962,715	3,962,715	0	0	△ 229,417	94.5	100.0
比較増減	△ 2,181	31,945	31,945	0	0			
対前年度比	99.9	100.8	100.8	-	-			

支払基金交付金の収入済額は39億9,466万円で、前年度に比べ3,194万5千円増加している。

これは、介護給付費交付金3,165万1千円、地域支援事業支援交付金29万4千円それぞれ増加したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

介護給付費交付金	3,893,161,000円	(前年度に比べ	31,651,000円(0.8%)の増)
地域支援事業支援交付金	101,499,030円	(前年度に比べ	294,030円(0.3%)の増)

第6款 県支出金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	2,292,954	2,130,849	2,130,849	0	0	△ 162,105	92.9	100.0
4	2,299,468	2,161,351	2,161,351	0	0	△ 138,117	94.0	100.0
比較増減	△ 6,514	△ 30,502	△ 30,502	0	0			
対前年度比	99.7	98.6	98.6	-	-			

県支出金の収入済額は21億3,084万9千円で、前年度に比べ3,050万2千円減少している。

これは、介護給付費負担金2,851万3千円、地域支援事業交付金198万9千円それぞれ減少したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

介護給付費負担金	2,039,205,000円	(前年度に比べ	28,513,000円(1.4%)の減)
地域支援事業交付金	91,643,964円	(前年度に比べ	1,989,381円(2.1%)の減)

第7款 財産収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	50	2	2	0	0	△ 48	4.0	100.0
4	50	4	4	0	0	△ 46	8.0	100.0
比較増減	0	△ 2	△ 2	0	0			
対前年度比	100.0	50.0	50.0	-	-			

財産収入の収入済額は2千円で、前年度に比べ2千円減少している。

第8款 繰入金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	216,609	54,012	54,012	0	0	△ 162,597	24.9	100.0
4	58,391	53,745	53,745	0	0	△ 4,646	92.0	100.0
比較増減	158,218	267	267	0	0			
対前年度比	371.0	100.5	100.5	—	—			

介護給付費準備基金から 5,401万2千円を繰入れ、前年度に比べ26万7千円増加している。

第9款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	648,103	665,927	665,927	0	0	17,824	102.8	100.0
4	311,288	330,902	330,902	0	0	19,614	106.3	100.0
比較増減	336,815	335,025	335,025	0	0			
対前年度比	208.2	201.2	201.2	—	—			

繰越金の収入済額は 6億6,592万7千円で、前年度に比べ 3億3,502万5千円増加している。

第10款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	9,075	18,335	18,335	0	0	9,260	202.0	100.0
4	4,914	13,597	13,597	0	0	8,683	276.7	100.0
比較増減	4,161	4,738	4,738	0	0			
対前年度比	184.7	134.8	134.8	—	—			

諸収入の収入済額は 1,833万5千円で、前年度に比べ473万8千円増加している。

これは、第1号被保険者延滞金が2万1千円、介護認定受託事業収入9千円、第三者納付金が229万6千円、雑入が241万2千円、それぞれ増加したことによる。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

第1号被保険者延滞金	128,700円	(前年度に比べ	20,900円 (19.4%) の増)
介護認定受託事業収入	8,850円	(前年度に比べ	8,850円 (皆増)
第三者納付金	5,332,929円	(前年度に比べ	2,296,034円 (75.6%) の増)
雑入	12,864,720円	(前年度に比べ	2,411,992円 (23.1%) の増)

(2) 歳出

第1款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	162,458	145,177	0	0	0	17,281	89.4
4	141,458	121,366	0	0	0	20,092	85.8
比較増減	21,000	23,811					
対前年度比	114.8	119.6					

総務費の支出済額は1億4,517万7千円で、前年度に比べ2,381万1千円増加している。

これは、趣旨普及費が2万円減少したが、総務管理費が1,013万8千円、徴収費が13万8千円、介護認定費が464万7千円、計画策定費が890万8千円、それぞれ増加したことによる。

支出済額の内訳は、次のとおりである。

・総務管理費	23,099,190円	(前年度に比べ	10,138,060円 (78.2%) の増)
・徴収費	5,694,195円	(前年度に比べ	137,552円 (2.5%) の増)
・介護認定費	105,981,923円	(前年度に比べ	4,646,816円 (4.6%) の増)
・趣旨普及費	1,383,382円	(前年度に比べ	19,635円 (1.4%) の減)
・計画策定費	9,017,893円	(前年度に比べ	8,908,268円(8126.1%) の増)

第2款 保険給付費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	15,121,080	13,987,550	0	0	0	1,133,530	92.5
4	15,151,649	14,101,349	0	0	0	1,050,300	93.1
比較増減	△ 30,569	△ 113,799					
対前年度比	99.8	99.2					

保険給付費の支出済額は139億8,755万円で、前年度に比べ1億1,379万9千円減少している。

これは、高額医療合算介護サービス等費が202万9千円増加したが、介護・予防サービス等諸費8,262万2千円、高額介護サービス等費が1,428万6千円、特定入所者介護サービス等費1,876万9千円、その他諸費15万1千円、それぞれ減少したことによる。

支出済額の内訳は、次のとおりである。

・介護・予防サービス等諸費	13,518,156,552円	(前年度に比べ	82,622,449円 (0.6%) の減)
・高額介護サービス等費	221,215,047円	(前年度に比べ	14,286,257円 (6.1%) の減)
・高額医療合算介護サービス等費	30,499,312円	(前年度に比べ	2,029,087円 (7.1%) の増)
・特定入所者介護サービス等費	204,247,591円	(前年度に比べ	18,768,948円 (8.4%) の減)
・その他諸費	13,431,040円	(前年度に比べ	150,640円 (1.1%) の減)

第3款 地域支援事業費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	657,481	634,372	0	0	0	23,109	96.5
4	639,600	624,373	0	0	0	15,227	97.6
比較増減	17,881	9,999					
対前年度比	102.8	101.6					

地域支援事業費の支出済額は6億3,437万2千円で、前年度に比べ999万9千円増加している。

第4款 保健福祉事業費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	54,099	54,012	0	0	0	87	99.8
4	53,845	53,745	0	0	0	100	99.8
比較増減	254	267					
対前年度比	100.5	100.5					

保健福祉事業費の支出済額は5,401万2千円で、前年度に比べ26万7千円増加している。

第5款 基金積立金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	366,962	366,922	0	0	0	40	100.0
4	63,590	63,542	0	0	0	48	99.9
比較増減	303,372	303,380					
対前年度比	577.1	577.4					

基金積立金の支出済額は3億6,692万2千円で、前年度に比べ3億338万円増加している。

支出済額は、その全額を介護給付費準備基金へ積み立てた。

第6款 公債費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	500	0	0	0	0	500	0.0
4	500	0	0	0	0	500	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比	100.0	—					

公債費の支出はなかった。

第7款 諸支出金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 運次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	318,348	316,284	0	0	0	2,064	99.4
4	149,839	148,519	0	0	0	1,320	99.1
比較増減	168,509	167,765					
対前年度比	212.5	213.0					

諸支出金の支出済額は3億1,628万4千円で、前年度に比べ1億6,776万5千円増加している。

これは、第1号被保険者保険料還付金61万5千円、第1号被保険者還付加算金が1万1千円増加し、償還金が1億6,713万9千円増加したことによる。

支出済額の内訳は、次のとおりである。

・第1号被保険者保険料還付金	1,751,500円	(前年度に比べ	614,800円 (54.1%) の増)
・第1号被保険者還付加算金	11,300円	(前年度に比べ	11,300円 (皆増)
・償還金	314,521,217円	(前年度に比べ	167,138,665円 (113.4%) の増)

第8款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 運次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	5,000	0	0	0	0	5,000	0.0
4	5,000	0	0	0	0	5,000	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比	100.0	—					

予備費の充用はなかった。

IX 養護老人ホーム楽寿荘事業特別会計

(1) 歳入

第1款 分担金及び負担金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	126,101	119,525	119,525	0	0	△ 6,576	94.8	100.0
4	127,322	117,323	117,323	0	0	△ 9,999	92.1	100.0
比較増減	△ 1,221	2,202	2,202	0	0			
対前年度比	99.0	101.9	101.9	-	-			

収入済額は1億1,952万5千円で、前年に比べ220万2千円増加した。

分担金及び負担金の収納状況及び前年度比較は、下記のとおりである。

措置費負担金 116,025,204円 (前年度に比べ7,002,294円(6.4%)の増)

措置市分担金 3,500,000円 (前年度に比べ4,800,000円の減)

第2款 財産収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	1	0	0	0	0	△ 1	0.0	100.0
4	5	0	0	0	0	△ 5	0.0	100.0
比較増減	△ 4	0	0	0	0			
対前年度比	20.0	0	0	-	-			

財産収入の収入済額は0円だった。

第3款 寄附金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算額に対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	10	270	270	0	0	260	2,700.0	100.0
4	10	241	241	0	0	231	2,410.0	100.0
比較増減	0	29	29	0	0			
対前年度比	100.0	112.0	112.0	-	-			

寄附金の収入済額は27万円で、前年度に比べ2万9千円増加している。

第4款 繰入金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	11,722	11,722	11,722	0	0	0	100.0	100.0
4	12,143	12,143	12,143	0	0	0	100.0	100.0
比較増減	△ 421	△ 421	△ 421	0	0			
対前年度比	96.5	96.5	96.5	-	-			

財政調整基金から1,172万2千円を繰り入れている。

第5款 繰越金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	1,000	4,611	4,611	0	0	3,611	461.1	100.0
4	1,000	2,816	2,816	0	0	1,816	281.6	100.0
比較増減	0	1,795	1,795	0	0			
対前年度比	100.0	163.7	163.7	-	-			

繰越金の収入済額は461万1千円で、前年度に比べ179万5千円増加している。

第6款 諸収入

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	996	2,319	2,319	0	0	1,323	232.8	100.0
4	1,020	1,937	1,937	0	0	917	189.9	100.0
比較増減	△ 24	382	382	0	0			
対前年度比	97.6	119.7	119.7	-	-			

諸収入の収入済額は231万9千円で、前年度に比べ38万2千円増加している。

収入済額の内訳は、次のとおりである。

- 受託事業収入 1,241,550円 (前年度に比べ13,950円(1.1%)の減)
- 雑入 1,078,151円 (前年度に比べ396,413円(58.1%)の増)

第7款 県支出金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額に 対する増減	収入割合	
							対予算	対調定
5	1,982	1,971	1,971	0	0	△ 11	99.4	100.0
4	0	235	235	0	0	235	皆増	100.0
比較増減	1,982	1,736	1,736	0	0			
対前年度比	皆増	838.7	838.7	-	-			

(2) 歳出

第1款 総務費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	43	27	0	0	0	16	62.8
4	48	44	0	0	0	4	91.7
比較増減	△ 5	△ 17					
対前年度比	89.6	61.4					

総務費の支出済額は 2万7千円で、前年度に比べ1万7千円減少している。

第2款 老人福祉費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	141,658	134,851	0	0	0	6,807	95.2
4	141,337	130,040	0	0	0	11,297	92.0
比較増減	321	4,811					
対前年度比	100.2	103.7					

老人福祉費の支出済額は 1億3,485万1千円で、前年度に比べ 481万1千円増加している。

第3款 基金積立金

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	1	0	0	0	0	1	0.0
4	5	0	0	0	0	5	0.0
比較増減	△ 4	0					
対前年度比	20.0	-					

基金積立金の支出はなかった。

第4款 公債費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	10	0	0	0	0	10	0.0
4	10	0	0	0	0	10	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比	100.0	-					

公債費の支出はなかった。

第5款 予備費

(単位：千円、%)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額			不用額	執行率
			継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越		
5	100	0	0	0	0	100	0.0
4	100	0	0	0	0	100	0.0
比較増減	0	0					
対前年度比	100.0	-					

予備費の充用はなかった。